

Hismile

ミキサー HS-MS03S



取扱説明書

室内・家庭用

この商品は海外ではご使用になれません。

もくじ

ご使用の前に

安全上のご注意	2
使用上のご注意	6
各部のなまえ	8

取り扱いかた

準備	9
使いかた(ジューサーミキサー)	10
使いかた(コーヒー豆ミル)	13
お手入れ	14

こんなときには

故障かな?と思ったら	15
モーター保護機能	17
仕様	18
別売品	19
保証とアフターサービス	19
保証書	裏表紙

保証書付 (裏表紙)

このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- ご使用の前に「安全上の注意」を必ずお読みください。
- 「保証書」は「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。
- この取扱説明書はお使いになる方がいつでも見ることができるよう大切に保管してください。

■品質には万全を期しておりますが、万一不都合な点がございましたら当社へお問い合わせください。

お電話でのお問い合わせ：03-5843-4572 メールでのお問い合わせ：service@hismile.co.jp

安全上のご注意

最初に、この「安全上の注意」をよく読んでいただき、正しく使用してください。人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

図記号の意味



注意を示す記号です。



禁止を示す記号です。



必ず行うことを示す記号です。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。



分解禁止

● 分解・修理・改造をしない

火災・感電・けがの原因になります。

修理技術者以外の方が修理を行うことは危険です。修理については、お買い上げの販売店または弊社コールにご相談ください。



水ぬれ禁止

● お風呂、シャワー室では絶対に使用しない

● 本体を水につけたり、本体に水をかけない

火災・感電の原因になります。



● 空運転は絶対にしない。また長時間の連続運転はしない

発煙・火災・感電の原因になります。またボトルに食材や液体を入れずに空運転すると破損・故障の原因になります。



分解禁止

● 異常・故障時には、ただちに使用を中止し、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く

発煙・火災・感電の原因になります。

【異常の例】

- 異常な音やにおいがする
- 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる
- 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする
- 使用中時々電源が切れる
- 触れるとビリビリ電気を感じる

➔使用を中止し、お買い上げの販売店または弊社コールへお問い合わせください。

電源プラグ・電源コードは正しく使う



- 電源プラグのほこりは定期的にとる
ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。

- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
ショートによる火災・感電の原因になります。



プラグを抜く

- お手入れや点検、移動の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く
感電やけがの原因になります。



ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電・けがの原因になります。



- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない
ショートによる火災・感電の原因になります。

- 電源コードを傷つけない

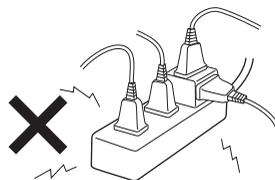
- 持ち運び時や収納時に電源コードを引っ張らない
傷つける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重いものを載せる、挟み込むなどしないでください。
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

- 電源コードをたばねて使用しない
火災の原因になります。電源コードは必ずのばして使用してください。

- 延長コードを使用したり、タコ足配線はしない
異常発熱して発火の原因になります。

- 交流 100V 以外では使わない
火災の原因になります。

- 子供だけで使わせたり、乳幼児の手の届くところで使わない
感電・けがの原因になります。



安全上のご注意 つづき



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。



- 運転中にボトルの中にスプーン・はしなどの食材以外のものは入れない
故障、破損の原因になります。



- カッターや回転部を露出した状態で運転しない
けがの原因になります。



- カッターは鋭利なため、直接手を触れない
けがの原因になります。



注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。



- 不安定な場所、すべりやすい場所で使用しない
落下・転倒してけがや火災のおそれがあります。



プラグを抜く

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く
電源コードが破損し、火災・感電のおそれがあります。



- 使用中は移動させない
火災・故障などのおそれがあります。

- 落としたり、強い衝撃を与えたりしない
火災・感電・事故のおそれがあります。



- 業務用など家庭用以外の用途に使用しない
本製品に無理な負担がかかり、故障・火災のおそれがあります。

- 調理以外の用途に使用しない
火災のおそれがあります。



- ジューサーボトルに容量（370ml）を超える食材をいれない
- コーヒー豆ミルボトルに容量（100g）を超えるコーヒー豆をいれない
ふきこぼれ・故障のおそれがあります。
- ボトルにボトル台を取り付けた状態で食材を入れて保存しない
- ボトルを電子レンジやオーブン、冷凍庫にいれない
- 樹脂ボトルは 40℃以上のお湯、食器洗淨機・食器乾燥機類では使用しない
部品の変形・劣化・破損や故障のおそれがあります。



- ジューサーミキサーボトルにドライアイスやロックアイスの粉砕、水分の少ない固形物だけの粉砕はしない
破損や故障のおそれがあります。
- 熱い食材を入れてかくはんしない
部品の変形・劣化・破損や故障のおそれがあります。
やけどや故障のおそれがあります。
(必ず食材を常温に冷やしてからご使用ください。)



- 40℃以上のものを容器に入れない
やけど、けが、変形、故障のおそれがあります。



- 取り付け時にボトル台と本体の間に異物をはさまない
けが、感電、火災のおそれがあります。



- 取り付け後は本体を持って移動する
けが、破損、故障のおそれがあります。

使用上のご注意

- ジューサーミキサーボトルを使用した場合、水などの液体とともにジュースやピューレ状にするかはん作業に適しています。フードプロセッサー、フードカッター、ドライミルの機能はないので、下記のような食材には使用できません。故障、損傷の原因になります。

【使用禁止食材（例）】

- ・ ロックアイスの粉砕はできません。
→角氷（約 2cm 以下のものを使用し、30g まで）は粉砕できますが、氷の破片が残る場合がありますのでご注意ください。
- ・ 完全に冷凍された果物・野菜の粉砕はできません。
→半解凍してからご使用ください。
- ・ 肉・魚類の粉砕はできません。
→挽肉作りなどにはご使用できません。
- ・ 泡立てや生地作りなどにはご使用できません。
→卵白の泡立て、生クリームのホイップ、ケーキ生地作りなどにはご使用できません。
- ・ 硬い食材の粉砕はできません。
→煮るなど、柔らかくしてからお使いください。

【単独での使用禁止食材（例）】

とろいも、長いもなどの粘り気の強い食材や、乾燥大豆、アーモンドなどの乾物の粉砕はできません。

- コーヒー豆ミルボトルを使用した場合は、コーヒー豆以外のものを入れないでください。

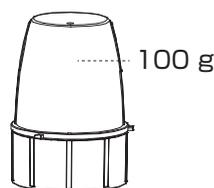
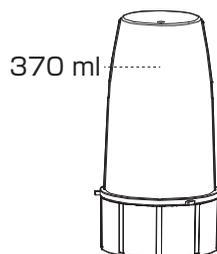
■ 以下の場合には故障ではありません。

1 分を超える連続使用や、食材が多い状態（ロックされる）での運転によりモーターに負荷がかかった場合、焦げ臭いニオイや煙のようなものが発生することがあります。これはモーターコイル巻線の補強材（ワニス）がモーター自体の過熱により蒸発したためで故障ではありません。この場合は 1 時間程度放置して、モーターを冷却してからご使用ください。それでも異常がある場合は弊社コール（専用メール service@hismile.co.jp）へお問い合わせください。

モーターは構造上、カーボンブラシがローターに接触し電流を流して軸を回転させます。このときに火花が出て本体が光ることがありますが、火花は瞬時に消えますので、発火や火災にはなることはありません。

モーター保護機能：モーターが過熱した場合、事故を防止するため、自動的に電源を遮断して、運転を停止する設計になっていますので、安心してお使いください。

- 調理できない食材は入れないでください。
(ジューサーミキサー使用時)
- 氷のみで運転(かき氷など)はしないでください。
(ジューサーミキサー使用時)
- 冷凍食品やドライアイスを入れて運転しないでください。
(ジューサーミキサー使用時)
- ジューサーミキサーの連続運転は定格時間(1分)以内にしてください。
- コーヒー豆ミルの連続運転は定格時間(30秒)以内にしてください。
- 金属製のスプーンやヘラなどを使用しないでください。
- 最大目盛を超える食材を入れしないでください。
- モーター保護装置が作動した場合はそのままの状態で使用を再開しないでください。
- 人工大理石の上には置かないでください。
- ジューサーミキサーボトルの最大目盛り(370ml)までの範囲でご使用ください。
- コーヒー豆ミルボトルの最大目盛り(100g)までの範囲でご使用ください。



【ジューサーミキサーボトル】 【コーヒー豆ミルボトル】

注意

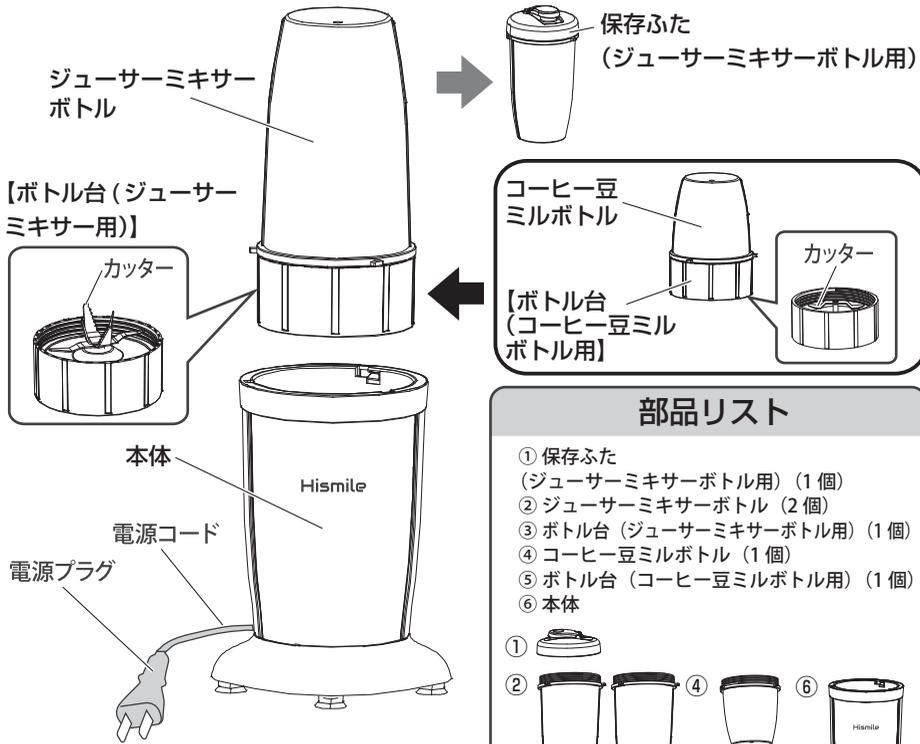
モーターに負荷がかかりすぎると保護装置が働き一時停止します。停止した後は、以下の手順を厳守してください。

1. 運転を止め、電源プラグをコンセントから抜く。
2. 本体を1時間程度自然冷却する。

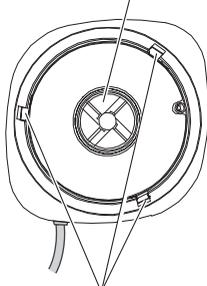
廃棄について

- 製品や梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

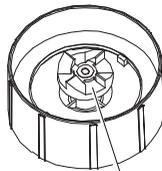
各部のなまえ



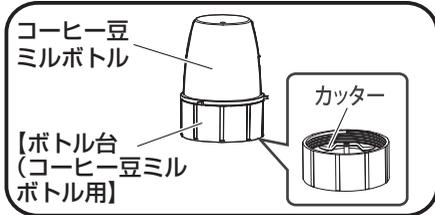
本体側の接合部分



ボトル台を裏から見た図



ボトル台側の接合部分 ※ゴム製



部品リスト

- ① 保存ふた (ジュースミキサーボトル用) (1個)
- ② ジュースミキサーボトル (2個)
- ③ ボトル台 (ジュースミキサーボトル用) (1個)
- ④ コーヒー豆ミルボトル (1個)
- ⑤ ボトル台 (コーヒー豆ミルボトル用) (1個)
- ⑥ 本体



安全スイッチ

安全スイッチを押さない。
回転部が回転し、けがのおそれ。

各部品が正しくセットされていない場合、電源スイッチが作動しない安全装置です。

本製品のボトル台側の接合部分はゴム製です。ご使用中に摩耗し、ボトル台と本体側の接合部分のまわりに黒い粉が付着することがありますが異常ではありません。また、正しくセットされていない状態での使用や過負荷状態の長期間のご使用により、接合部分の摩耗が進行し、ゴムが削れて黒煙のように飛散することがあります（発火による煙ではございません）。このような場合は、販売店または、当社コールにご相談ください。

準備

組み立て方法

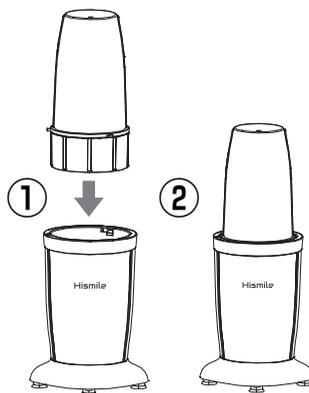
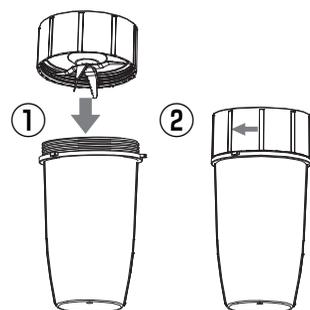
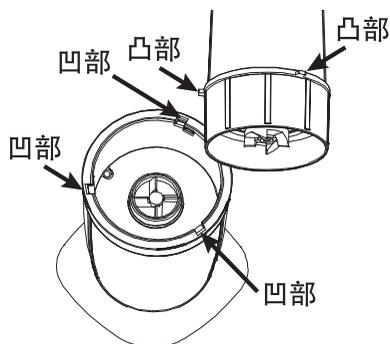
■ ボトル台の取り付け／取り外し

- ① 取り付けるときは、ボトルの投入口を上にして押さえながら、ボトル台をボトルにはめめます。
 - ② ボトル台を矢印の方向（時計回り）にしっかりと回して取り付けます。
- ※ 取り外すときは、ボトル台を矢印と逆の方向（反時計回り）に回します

図はジューサーミキサーボトル台を例にとって説明しています。コーヒー豆ミルボトル台の組み立て方法も同様に行ってください。

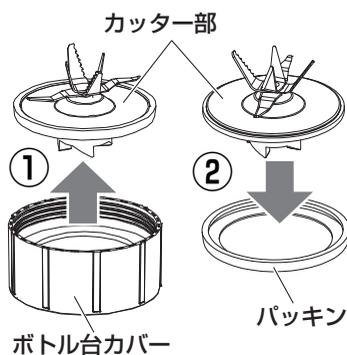
■ ボトル台の本体への取り付け

- ボトル・ボトル台の本体への取り付けは、本体を押さえながら、本体接合部内側の『凹部』とボトル台の『凸部』を合わせるようにボトル・ボトル台を本体に入れます。
- ※取り付けが不完全だと電源が入りません。



■ ボトル台のパッキンの取り外し／取り付け

- ① ボトル台からカッター部を下から押して取り外します。
 - ② カッター部からパッキンを取り外します。
 - ③ 取り付けるときは、上記の逆の手順で組み立てます。
- ※ パッキンには取り付ける向きがあります。必ず図のようにして取り付けてください。
- ※ ボトル台に組み立てた状態で工場出荷しています。



使いかた (ジューサーミキサー)

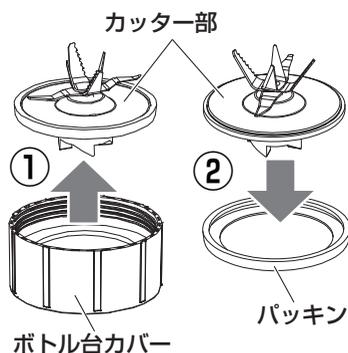
⚠ 注意

- はじめてお使いになるときは、「お手入れ」(14 ページ) を参考にして、本体以外の各部品を洗ってからご使用ください。
- 製品の定格時間 (連続使用可能時間) は、1 分です。1 分間連続して運転した場合、繰り返しての使用はモーターが冷めてからご使用ください。
- 370ml までの範囲でご使用ください。
- 本製品は食材をカッターで粉砕し混ぜ合わせるものです。食材に水分が少ないとボトル内でうまく回転しません。その場合は水や牛乳などの水分 (液体) を加えてご使用ください。
- 下記の食材は調理しないでください。
 - ◆かたいもの (乾燥大豆、乾物、穀類、冷凍食品、ドライフルーツ、しょうが、ワゴンなど)
※果物が冷凍の場合は解凍してから使用してください。
 - ◆肉、魚類
 - ◆粘り気の強いもの、水分の少ないもの (とろろいも、ゆでたじゃがいも、こんにゃくなど)
※バナナは必ず牛乳などの液体を入れて使用してください。
- ドライアイスは入れないでください。

■ お使いになる前に

- ボトル台 (ジューサーミキサーボトル用) のパッキンがきちんとカッター部に取り付けられていて、浮きや歪みがないか必ずご確認ください。ある場合は、P9 を参照にきちんと取り付けてください。

- ※ パッキンはボトル台にきちんと取り付けられていないと、カッターで傷つくおそれがあります。
- ※ パッキンを傷つけるおそれがあるものは使用しないでください。
- ※ カッター部に取りつけた状態で工場出荷しています。



1 食材を準備する

食材を入れる順番

- ①角氷 (必要な場合)
- ②水分の少ない食材
(リンゴ・にんじん・バナナ等)
- ③葉物野菜
- ④水分の多い食材
(柑橘類等)
- ⑤液体

※食材は全て 2cm 以下の大きさに切る。

※必ず氷や水分の少ない食材を先に入れる。
カッターが引っかかり回転しません。

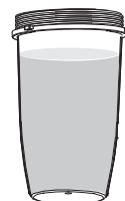
※必ず水や牛乳などの液体を加えてください。



2 ジューサーミキサーボトルに食材を入れ、ボトル台を取り付ける

⚠ 注意

- パッキンの付け忘れ、装着時のねじれ・よごれ等に注意する。
- 空運転をしない。(破損・故障のおそれ)
- 熱い食材を入れない。(破損・故障のおそれ)
※必ず食材を常温に冷ましてからご使用ください。
- ボトルに定格容量をこえる食材を入れない。(ふきこぼれ・故障のおそれ)
- 禁止食材を入れない。(破損・故障のおそれ)
※食材が大きすぎるとカッターが回転しないことがあります。その場合は食材を小さく切って再度運転してください。



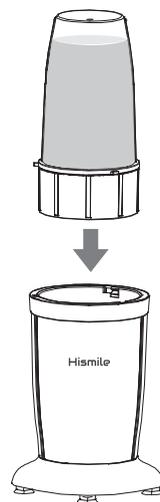
3 本体を平らな台の上に置き、ゴム足の吸盤をしっかり吸着させる

4 ボトルを逆さまにし、凹凸を合わせて本体にセットする

※傾きがないように確実にセットしてください。

※ボトルにボトル台をしっかり取り付けないと、ボトルを逆さにした際に食材（液体）が漏れる可能性がありますのでご注意ください。

5 電源プラグをコンセントにしっかり差し込む

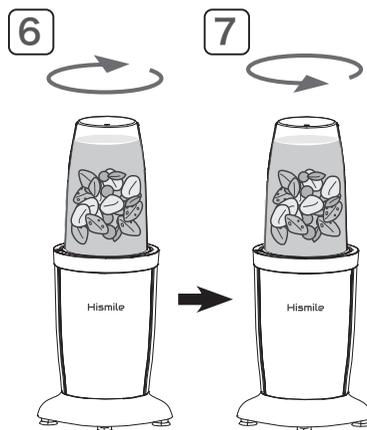


使いかた (ジューサーミキサー) (つづき)

6 ボトルを右 (時計回り) に回して 運転 (かくはん) する

⚠ 注意

- 長時間の連続運転をしない。(故障のおそれ) 連続運転は 1 分以内
- 運転中は本体を持ち上げない。(故障のおそれ)
※必ずゴム足の吸盤を台に吸着させた状態でご使用ください。
- 回転中にボトル・ボトル台を本体から外したり再度本体にセットしたりしない。(部品の破損・故障のおそれ)
※カッターが空回りしているときは、ボトルを軽く振るなどして、食材を下へ落としてください。

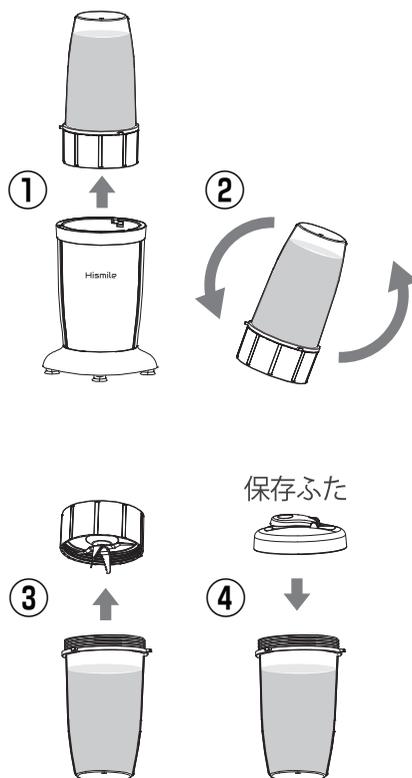


7 ボトルを左 (反時計回り) に回して 運転 (かくはん) を止める

8 ボトル・ボトル台を逆さにしてから ボトルからボトル台を取り外す

⚠ 注意

- カッターの回転が完全に止まってからボトル・ボトル台を本体から外す。(故障のおそれ)
※カッターは、運転を止めた後も惰性で回転するので、完全に停止を確認してからボトル・ボトル台を外してください。
- カッターは鋭利なため、直接手で触れない。(けがのおそれ)
- 取り外したボトル台は容易に手に触れるところに置かない。(けがのおそれ)
- 使用後は必ず電源プラグをコンセントから抜く。
※調理物が取り出しにくいときは、ヘラなどを使って取り出してください。
※カッターが付いた状態で調理物を保存しないでください。
- 保存・持ち運びの際は保存ふたをつけてからボトルを持って運んでください。



使いかた (コーヒー豆ミル)

⚠ 注意

- はじめてお使いになるときは、「お手入れ」(14 ページ) を参考にして、本体以外の各部品を洗ってからご使用ください。
- 製品の定格時間(連続使用可能時間)は、30 秒です。30 秒間連続して運転した場合、繰り返しての使用はモーターが冷めてからご使用ください。
- 100g までの範囲でご使用ください。

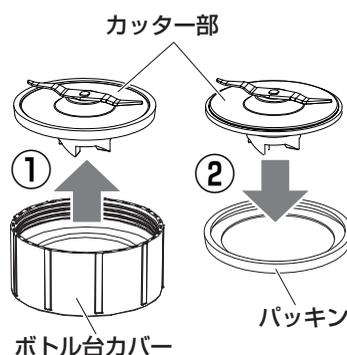
■ お使いになる前に

- ボトル台(コーヒー豆ミルボトル用)のパッキンがきちんとカッター部に取り付けられていて、浮きや歪みがないか必ずご確認ください。ある場合は、P9 を参照にきちんと取り付けてください。

※ パッキンはボトル台にきちんと取り付けられていないと、カッターで傷つくおそれがあります。

※ パッキンを傷つけるおそれがあるものは使用しないでください。

※ カッター部に取りつけた状態で工場出荷しています。



1 コーヒー豆ミルボトルにコーヒー豆を入れ、ボトル台を取り付ける

2 本体を平らな台の上に置き、ゴム足の吸盤をしっかりと吸着させる

3 ボトルを逆さまにし、凹凸を合わせて本体にセットする

※傾きがないように確実にセットしてください。

※ボトルにボトル台をしっかり取り付けないと、ボトルを逆さにした際に食材(液体)が漏れる可能性がありますのでご注意ください。

4 電源プラグをコンセントにしっかりと差し込む

5 ボトルを右(時計回り)に回して豆をひく

6 ボトルを左(反時計回り)に回して豆をひくのを止める

7 ボトル・ボトル台を逆さにしてからボトルからボトル台を取り外す

■ 注意事項は左ページ下の「注意」をご覧ください。

お手入れ

⚠ 注意

- お手入れは必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、カッターの回転が完全に止まり、本体が冷えてから行ってください。
- 洗剤は食器用洗剤をお使いください。
※シンナー・ベンジン・スプレー式クリーナー・みがき粉・クレンザー・漂白剤などは使用しないでください。
- 食器洗浄機、食器乾燥機などは使用しないでください。
- カッターには直接手を触れないでください。
- 本体に直接水をかけたり、丸洗いはしないでください。
- 金属たわしや硬いたわしなどは使用しないでください。
- ご使用後は、すぐにお手入れをしてください。
- 食材の色が付着することがありますが、ご使用には問題ありませんので、安心してご使用ください。

本体

- 汚れは乾いたやわらかい布でふいてください。
- 汚れがひどいときは、ぬるま湯で薄めた食器用洗剤をやわらかい布に浸してよくしぼってふき、その後乾いた布でふきとってください。

ボトル台

- 分解してから各部品を洗ってください。
- カッターは鋭利で危険です。直接手を触れずに柄のついたブラシ等に食器用洗剤をつけて洗い、よくすすいでから、十分に乾かしてください。
- 汚れがひどい場合は、ボトルにぬるま湯を 1/3 程度入れ、食器用洗剤を少量加えて数秒間運転させます。その後、本体から取り外して十分に水洗いし、水気をよくふきとって乾かしてください。

保存ふた

- 食器用洗剤を入れたぬるま湯に浸してからスポンジを使って洗ってください。よくすすいでから乾かしてください。
※ボトルの内側は、柄のついたスポンジで洗うことをおすすめします。
※パッキン類は、にんじん・葉菜類からの色移りが、洗っても取れにくい場合がありますが、ご使用には問題ありませんので、安心してご使用ください。

保管について

- けがを防ぐためボトル台はボトルに取り付けてください。
- 直射日光の当たらない通気性の良い場所で保管してください。
- 大理石のテーブルなどの上に長時間置いておくと、ゴム足の跡が残る可能性がありますので、ご注意ください。

故障かな？と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、以下の点を確認してください。

症状／点検項目	考えられる原因	処置方法
調理物が漏れる／ひいたコーヒーが飛び散る	ボトル台の取り付けが緩んでいませんか？	ボルトにボトル台をしっかりと取り付けてください。
	食材（コーヒー豆）を入れすぎていませんか？	食材の量を減らしてください。
	パッキンを付け忘れていませんか？	ボトル台にパッキンをしっかりと取り付けてください。
	保存ふたをしっかりと閉めていますか？ (ジューサーミキサーボトル使用時)	保存ふたをしっかりと閉めてください。
	カッターの軸受け部が摩耗しています。事故を引き起こす原因になりますので、ただちにご使用をやめてください。	新しいボトル台をお買い求めいただく必要があります。お買い上げの販売店または弊社コールにご連絡ください。
振動が大きい	食材（コーヒー豆）の量が多すぎませんか？	食材の量を減らしてください。
焦げ臭いにおいがする	食材の切り方が大きすぎませんか？ (ジューサーミキサーボトル使用時)	食材を小さく切り直してください。
	調理できない食材が入っていませんか？	調理できない食材を取り除いてください。
ボトルを右（時計回り）に回しても運転しない	電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでいますか？	電源プラグを確実にコンセントに差し込んでください。
	ボトルやボトル台が本体に確実にセットされていますか？	ボトルやボトル台が本体に確実にセットしてください。
	モーターの保護機能が働いていませんか？	運転を止め、電源プラグをコンセントから抜いてください。1時間程度自然冷却してください。

故障かな？と思ったらっつき

症状／点検項目	考えられる原因	処置方法
回転が止まる、または回転が遅くなる。(運転をやめ、電源プラグをコンセントから抜いてください)	食材（コーヒー豆）の量が多すぎ（大きすぎ）ませんか？	食材（コーヒー豆）の量を減らしてください。 食材を小さく切り直してください。
	カッターとボトルの間に食材がはさまっていませんか？（ジューサーミキサーボトル使用时）	食材を取り除いてください。
	ボトルが本体に正しくセットされますか？	ボトルを本体に正しくセットしてください。
	ボトル台と本体の接合部がすり減っていませんか？	弊社コールにお問い合わせください。
	ボトル台の取り付けが緩んでいませんか？	ボトルにボトル台をしっかり取り付けてください。ボルトにボトル台を完全にり取り付けないと、カッターが回転しない設計になっています。
カッターが空回りする	ボトルの壁面に食材が張り付けていませんか？	ボトルを本体から外して上下に振り、食材を落としてください。
	食材が上下に分離していませんか？（ジューサーミキサーボトル使用时）	ボトルを本体から外して上下に振り、食材を混ぜ合わせてください。
	食材（コーヒー豆）の量が少なすぎますか？	食材（コーヒー豆）の量を増やしてみてください。
回転中に急に止まる（運転をやめ、電源プラグをコンセントから抜いてください）	保護装置が働いて回転が止まっていますか？	運転を止め、電源プラグをコンセントから抜いてください。1時間程度自然冷却してください。
	食材（コーヒー豆）を入れすぎていませんか？	食材（コーヒー豆）の量を減らしてください。
	負荷がかかりすぎていませんか？（ジューサーミキサーボトル使用时）	粘り気の強いもの・水分の少ないもの・硬いものなど禁止食材はボトル台の破損やモーター故障の原因になりますのでおやめください。
	食材の量が多すぎて、カッターがロックしていませんか？（ジューサーミキサーボトル使用时）	ロックしている食材を取り除いてください。
においがする	長時間の使用、または長負荷で使用しています。	においや煙のようなものを感じることがあります。これはモーターコイル巻線の補強材（フニス）がモーター自体の発熱により蒸発したためで故障ではありません。

症状／点検項目	考えられる原因	処置方法
ボトル台の裏側に黒い汚れが付着する	黒い汚れは運転中に押し出された水分とボトル台軸の潤滑油です。	汚れが目立つ場合は、乾いた布などでふき取ってください。
ボトル台のまわりに黒い粉が付着する	本製品のボトル台の接合部分はゴム製です。ご使用中に摩耗し、接合部のまわりに黒い粉が付着することがあります。	異常ではありません。汚れが目立つ場合は、乾いた布などでふき取ってください。
	正しくセットされていない状態でのご使用や過負荷状態の長期間のご使用により、接合部の摩耗が進行し、接合部同士が滑り、ゴムが削れて黒煙のように飛散することがあります（発火による煙ではございません）	このような場合は、販売店または、弊社コールにご相談ください。

それでも解決できないときは

お買い上げの販売店、または弊社コール（専用メール service@hismile.co.jp）へお問い合わせください。



警告

- ご自分での分解・修理・改造はしないでください。



注意

- できあがった食材が、異臭がしたり、色がおかしかったりする場合は、食べずに廃棄してください。

モーター保護機能

定格時間を超えた連続使用や、食材が多い状態での運転により**モーターが過熱した場合、モーター保護のために自動的に電源を遮断して運転を停止します。**この場合は、電源プラグを抜いてから涼しい場所に1時間程度放置してモーターを冷却してください。

仕様

製品名	ミキサー	
機種名	HS-MS03S	
JANコード	4580553700238	
電源	100V ~ 50/60Hz	
消費電力	400W	
材質	本体	ABS樹脂 / ステンレス
	ボトル台	ABS樹脂
	カッター	ステンレス (チタンコーティング)
	ジュースミキサーボトル	Tritan : 2 個
	ジュースボトルふた	PP樹脂
	コーヒー豆ミルボトル	Tritan : 1 個
ジュースミキサー定格時間	1 分	
コーヒー豆ミル定格時間	30 秒	
ジュースミキサー定格容量	約 400ml	
コーヒー豆ミル定格容量	約 100g	
電源コード長さ	約 120cm	
製品寸法 (幅×奥行き×高さ、電源コード含まず)	本体 (ジュースミキサーボトルセット時) : 約 135 × 121 × 307 mm 本体 (コーヒー豆ミルボトルセット時) : 約 135 × 121 × 260 mm ジュースミキサーボトル (保存ふた使用時) : 約Φ 95 × 167 mm	
製品質量	本体 : 約 1052 g、 ボトル台 (ジュースミキサー用) : 約 103 g、 ジュースミキサーボトル : 95 g、 ボトル台 (コーヒー豆ミル用) : 約 98 g、 コーヒー豆ミルボトル : 70 g、 保存ふた (ジュースミキサーボトル用) : 約 27 g	
付属品	レシピブック、取扱説明書 (保証書含む)、 ジュースミキサーボトル 2 個、 コーヒー豆ミルボトル 1 個、 保存ふた (ジュースミキサーボトル用) 1 個	
生産国	中国	

※商品の仕様は予告なく変更することがあります。

別売品

2022年12月1日現在

部品名	部品コード	希望小売価格(税込)
ジューサーミキサーボトル	20230102	1,500円
コーヒー豆ミルボトル	20230103	1,500円

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

■ 保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。

保証書がありませんと、無料修理保証期間内でも代金を請求される場合がありますので、大切に保管してください。

■ 保証期間

保証期間は、保証書(裏表紙)に記載されている期間です。

保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

■ 保証期間経過後の修理

証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。修理料金は技術料、部品代、運賃で構成されています。

■ 補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、5年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店または弊社にお問い合わせください。

愛情点検



長年ご使用のミキサーの点検を！

このような症状はありませんか？

- 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- 焦げ臭いニオイがする。
- 運転中に異常な音や振動がする。
- 触れるとビリビリと電気を感じる。
- 据え付けが傾いたりぐらぐらする。
- その他、異常・故障がある。

異常があればご使用中止

事故防止のため、電源プラグをコンセントから抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検をご依頼ください。

ミキサー HS-MS03S 保証書

持込修理

本書は、お買い上げ日から下記期間内に故障が発生した場合に、下記の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げ日 ※ 年 月 日		保証期間	お買い上げ日より：1年間
お客様	お名前	※ 販売店	住所・店名
	ご住所 〒 電話 () -		電話 () -

販売店様へ： ※印欄は必ず記入してお渡してください。

保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料で修理または交換いたします。
- 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示のうえ、修理をご依頼ください。
- 保証内容は本製品自体の無料修理に限ります。保証期間内においても、その他の保証はいたしかねます。
- ご転居や贈答品などで本保証書に記入してある販売店に修理をご依頼になれない場合には、弊社コールにお問い合わせください。
- 保証期間内におきましても次の場合には有料修理になります。
 - 使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷
 - お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
 - 火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
 - 一般家庭用以外（たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載など）に使用された場合の故障及び損傷
- お買い上げ後の移動、輸送または什器・備品などとの接触による故障及び損傷
- 本書の提示がない場合
- 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。（通信販売でご購入の場合は保証期間内のレシート、お買い上げ伝票等があれば、無料修理または交換いたします。）
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

- ※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社コールにお問い合わせください。
- ※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については、「保証とアフターサービス」をご覧ください。

メールでのお問い合わせ： service@hismile.co.jp
(お電話によるお問い合わせより回答時間が大幅に短縮されます。)

お電話でのお問い合わせ：
03-5843-4572 / 080-7563-0532
営業時間：月曜～金曜 9:00 - 12:00 / 13:00 - 17:30

合同会社ハイスマイルソリューション <http://www.hismile.co.jp/>

〒103-0004 東京都中央区東日本橋二丁目28番4号 日本橋CETビル2階

HS221201-0